

## 科目名:敗者の人生と文学

### ●科目概要

『方丈記』には、地震、大火災、疫病、大飢饉などが重なり合って、未曾有の大災害が人々を襲ったことが、かかっている。更には政権交替に伴う大混乱など、まさにこれまで誰も考えられなかった国難が押し寄せた。今日の日本の状況、さながら状況であった。危機管理が叫ばれている今日の国状と同然であった。鴨長明という人物は、具にその状況を記録した。恐るべき危機対応の中から生まれた「生き方」は日本人そのものの考え方だった。

### ●教員コメント

鴨長明が書いた「方丈記」を解説しながら、日本人が今日まで、大災害に対し、未曾有の国難に対してどんな対応をし、どんな心を持って臨んだのか、また「確たる生きる指針」はどのような考えであったのかを、共に考えよう。

### ●教科書

岩波文庫、新潮文庫などに収められている鴨長明著『方丈記』

